

現場説明書

- 1 業務名 北下浦漁港海岸侵食対策概略設計業務
2 監督員 港湾部 港湾整備課

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この業務の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、業務委託契約書又は業務委託請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は施行場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 前払金について

前払金 する ~~しない~~
前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

3. 部分払について

部分払 する(一回以内) しない

4. 継続事業に係る業務の各会計年度別支払限度額について

- (1) 継続事業に係る業務の各会計年度における委託代金額の支払限度額及び前払金の割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (委託代金額に対する割合)	前払金
初年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%
第2年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%
第3年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%

- (2) 各会計年度における委託代金額の支払限度額は、受託者決定後業務委託契約書を作成するまでに受託者に通知する。

5. 契約に関する事項について

- (1) 設計図書関係
- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、受託者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

- ア 委託代金内訳書 ~~要提出(契約締結後7日以内)~~
提出不要
- イ 工程表 要提出(契約締結後7日以内)
~~提出不要~~
- ウ 着手届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
- オ 下請負者届 下請負を発注の都度、提出すること。
- カ 直営工事届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

ア 支給材料	あり	なし
イ 貸与品	あり(特記仕様書記載のとおり)	なし

(5) 条件変更等の関係

業務の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により業務内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により業務内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、履行期間の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

部分引渡し指定部分	あり	なし
-----------	---------------	----

6. テクリスの登録について

受託者は、受注時又は変更時及び完了時において委託代金額が100万円以上の業務について、測量調査設計業務実績情報サービス(TECRIS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

ただし、建築関係業務においては、対象外となる場合があるので監督員と協議すること。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受託者に届いた際には、直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) 完了時登録データの提出期限は、業務完了後10日以内とする。
- (3) 施行中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時と完了までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

7. 下請負者について

下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

8. 一括下請けの禁止について

受託者は、本業務の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

9. 技術的事項について(別紙)

特記仕様書

1 業務名

北下浦漁港海岸侵食対策概略設計業務

2 業務概要

北下浦漁港海岸 概略設計 1式

3 業務場所

横須賀市津久井1丁目4番地先から野比2丁目10番地先

4 業務期間

自 令和 年 月 日
至 令和 6年 3月 15日

5 業務目的

本業務は、北下浦漁港海岸において「北下浦漁港海岸侵食対策基本計画」に基づき行っている事業の効果を検証したところ一部の区間で侵食が著しい箇所が確認されたため、漂砂の動向を把握するとともに、抜本的な対策を検討し、現在の基本計画を見直しするものである。

6 業務仕様

本業務は、水産庁漁港漁場整備部発行の「漁港漁場設計・測量・調査等業務共通仕様書」の定めによるものとし、当該共通仕様書の共通編等における契約条項等は、本市の契約条項等に読み替えて使用する。

なお、特記仕様書を最優先するものとする。

7 下検査の実施について

しゅん工検査前に、現場代理人が立会いのうえ、港湾整備課の実施する下検査を受けなければならない。

8 一般事項

- (1) 本業務の基準面は、東京湾平均海面-0.997mとする。
- (2) 本業務は、北下浦漁港海岸等侵食対策基本計画（平成18年3月）及び北下浦漁港海岸基本計画検討業務（平成21年度）・令和4年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務（令和5年3月）を十分に理解したうえで業務を遂行するものとする。
- (3) 受託者は、本業務の趣旨、内容、目的等を把握し、必要と思われる事項が生じた場合は速やかに監督員と協議し、その指示に従うものとする。
- (4) 本業務は、下記の基準や規則に準拠し実施すること。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議して決定すること。使用図書等が改正された時は、最新のものに基づくものとする。
 - ア 海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成30年8月度版）海岸保全施設技術研究会
 - イ 漁港・漁場の施設の設計参考図書（2015年度版）（社）全国漁港漁場協会
 - ウ 漁港海岸事業設計の手引（令和2年度版）（社）全国漁港協会
 - エ 港湾の施設の技術上の基準・同解説（平成30年5月）
 - オ 海岸施設設計便覧（2000年版）（社）土木学会
 - カ 人工リーフの設計の手引（改正版）（平成29年6月）
- (5) 設計計算で使用した公式、その計算過程及び引用文献（ページ）を成果品に詳細を記述すること。
- (6) 印刷製本、トレース等の簡易業務以外の技術的判断を必要とする業務を第三者に請負わせてはならない。
- (7) 受託者は、現地において私(公的)物件に損傷を与えないよう注意し、万一損傷を与えた場合は、受託者の負担において処理するものとする。

9 業務内容

(1) 計画準備

検討を行うにあたり、事前に業務の目的及び内容を把握し、業務の手順および遂行に必要な事項を計画立案し、業務計画書を作成する。

(2) 設計条件（利用・自然条件の設定）

既往の検討資料および施設の整備履歴に係る資料収集整理を行うとともに、直近までの深浅測量成果より近年の地形変化傾向の分析を行い、検討の基礎資料とする。その資料を基に波浪、潮位、地形等の自然条件や背後地の利用条件を整理し、設計条件として設定する。

自然条件を決定する場合、決定方法等について監督員の承認を得るものとする。

(3) 課題の抽出及び全体計画の検討

ア 現基本計画の課題抽出

既往の検討資料や近年の地形変化傾向等を踏まえて、現基本計画内の残事業を精査し、事業の方針や必要性等について検討を行う。また、背後地の利用状況や既設護岸天端高を踏まえて、防護面における課題を抽出する。

イ 全体計画の再検討

『現基本計画の課題抽出』の結果を踏まえて、全体計画の再検討を行う。特に、当初計画から異なった傾向が確認されている場合は、その要因について考察するとともに、新たに最適な整備計画の検討を進める。

(4) 対策工の提案

ア 漂砂に対する対策工再検討

1Lineモデルによる汀線変化予測を実施し、施設配置の見直しに向けた基礎資料とする。汀線変化予測は、以下の4ケースを想定するが、各ケースの詳細については、監督員と協議の上で決定すること。

- ① 再現計算
- ② 予測計算：施設整備変更
- ③ 予測計算：養浜箇所変更
- ④ 予測計算：砂浜の維持管理方針検討

イ 対策工の提案

汀線変化予測の結果を踏まえて、変更が必要となる施設整備箇所および養浜箇所を設定する。なお、対策工の検討に当たっては、これまでの解析結果も踏まえて総合的な検討を進めるとともに、地域住民や有識者の意見も踏まえた方針とする。

(5) 全体施設配置の決定

ア 基本断面算定

『漂砂に対する対策工再検討』にて決定した対策工について、所定の防護機能を満足する3断面程度の構造比較により検討を行う。

また、断面検討の対象は離岸堤と養浜を想定しているが、検討の過程で追加や変更が必要となった場合は協議の上で設計変更を行う。

ここで、養浜断面の検討においては、将来的な養浜の流出と、流出後の維持管理（養浜材の再投入）を勘案し、適切な断面を設定すること。

断面の決定にあたっては、比較断面図作成、概算数量算定、概算工事費算定、施工性の比較・検討を行い、適正な構造形式とする。

イ 全体施設配置の決定

『対策工の提案』の結果を踏まえて全体施設配置を決定する。新たに追加する施設については、各種図面（平面図・縦横断図・標準断面図等）を作成するとともに、設計計算書を取りまとめる。

(6) パブリックコメント資料作成

地域住民などへアンケート調査を行い、その結果を集計して計画検討に反映させる。

また、「北下浦漁港海岸侵食対策事業」の基本計画変更案について整理し、有識者へのヒアリング資料とする。

(7) 協議・打合せ

設計協議は3回（初回・中間・納品時）を基本とする。その他、必要に応じて適宜打合せを実施し、円滑に業務を遂行すること。

10 照査について

- (1) 受託者は、照査技術者を定め照査するものとする。
照査技術者は、当該業務に関わる分野の技術士又はこれと同等の力量経験を有する技術者とし、各照査内容により適切に配置すること。
業務完了時に照査結果を照査報告書に取りまとめ署名押印し、監督員に提出すること。
- (2) 照査技術者が行う照査は、次に掲げる事項とする。
 - ア 施工条件
 - イ 設計方針
 - ウ 設計手法及び設計計算
 - エ 設計図
 - オ 数量計算
 - カ 漁港漁場設計・測量・調査等業務共通仕様書記載事項

11 成果品について

- (1) 下記の成果物を作成し提出すること。
 - ア 報告書
 - イ その他(監督員の指示によるもの)
- (2) 報告書は2部作成すること(A4判、金文字黒表紙)。なお、ページ数によっては分冊でも良い。黒表紙には「業務名称」、「しゅん工年月」、「発注者名」、「受託者名」を記入し、内表紙には黒表紙と同様の記載をしたうえで社印を押印すること。
- (3) 図面データは、IJ CAD で使用できるものとしA3判で作成すること。図面の文字についてはA3判で判読可能な大きさとする。
- (4) 報告書をPDFに変換したうえで、図面のCADデータと同一CDに記録し報告書2部に添付すること。また、CD表面には「業務名称」、「しゅん工年月」、「受託者名」を記入すること。
詳細は監督員の指示に従うこと。

12 配置技術者について

- (1) 漁港漁場設計・測量・調査等業務共通仕様書に定められた管理技術者を現場代理人及び主任技術者と読み替えるものとする。
- (2) 主任技術者及び照査技術者は、建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)、水産部門(水産土木)の技術士もしくはRCCM(河川、砂防及び海岸・海洋又は水産土木)の資格を有すること。
- (3) 現場代理人が前項の資格を有する場合には、主任技術者を兼ねることができる。
- (4) 照査技術者は、現場代理人及び主任技術者を兼ねることができない。

13 テクリス登録について

受託者は、受注時又は変更時及び完了時において委託代金額が100万円以上の業務について、測量調査設計業務実績情報サービス(TECRIS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受託者に届いた際には、直ちに監督員に提出しなければならない。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) 完了時登録データの提出期限は、業務完了後10日以内とする。
- (3) 施行中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時と完了までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

14 その他

- (1) 本業務遂行にあたり必要な関係機関との協議用資料を作成すること。
- (2) 本業務開始前に業務計画書を提出し、監督員の承諾を得ること。
- (3) 本業務により知りえた内容については、いかなる場合においても他に漏洩してはならない。

- (4) 本業務完了後に内容について誤りが認められる場合は、受託者は速やかに訂正を行うこと。
- (5) 本業務の進捗状況等について監督員と密に連絡を取り業務が円滑に履行できるよう配慮すること。
- (6) 本仕様書に記載なき事項について疑義が生じた場合は監督員と協議のうえ決定すること。
- (7) 本業務は、以下の基準書等を使用し積算している。
 - ・ 漁港漁場関係工事積算基準 令和5年度版
- (8) 設計書内の本工事費内訳書の事務用品費及び業務成果品費（率分）については、上記積算基準の基本設計の率を使用している。
- (9) 本業務の貸与品は以下のとおりとする。
 - ア 北下浦漁港海岸基本計画検討業務（平成21年度）
 - イ 平成23年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴うモニタリング解析業務
 - ウ 平成24年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務
 - エ 平成25年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務
 - オ 平成26年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務
 - カ 平成27年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う測量業務
 - キ 平成28年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務
 - ク 平成29年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務
 - ケ 平成30年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務
 - コ 令和元年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務
 - サ 令和2年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務
 - シ 令和3年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う汀線測量業務
 - ス 令和4年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う測量業務
 - セ 令和4年度北下浦漁港海岸侵食対策事業に伴う解析業務

令和 05 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

設 計 書 番 号	年度 05	
事 業 所 名	横須賀市港湾部	
(工 事 ・ 業 務) 名	北下浦漁港海岸侵食対策概略設計業務	
(工 事 ・ 業 務) 簡 所	横須賀市津久井 1 丁目 4 番地先から野比 2 丁目 1 0 番地先	
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名		
単 価 採 用 地 区 名	横須賀	
事 業 区 分		
工 期	令和 06 年 03 月 15 日 まで	
設 計 金 額	(円)	
	円	
設 計 概 要		
(起 工 ・ 変 更) 理 由		

令和 05 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

<支出科目>

款	0 7 農林水産業費
項	0 2 水産業費
目	0 4 漁港施設整備費
節	1 2 委託料
細節	5 8 業務委託料 [建設目]

<合併区分情報>

合併処理設定	しない
	区 分 1
	区 分 2
	区 分 3
	区 分 4
	区 分 5
	区 分 6
	区 分 7
	区 分 8
	区 分 9

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
業務費						
業務価格						
消費税等相当額						

令和 05 年度 積算諸条件調書(当初)

経費等情報	レ	設計業務	委託先/α、β	建設コンサルタント/α=35%、β=35%		
		測量業務				
		磁気探査業務	委託先/α、β			
		土質調査業務	施工管理費			
		土質調査業務(解析)	委託先/α、β			
	係数ランク			ランク 3		
	[港湾]設計業務等標準積算基準書 適用年版			令和05年度 適用		
	資材等単価表 適用年版			令和5年7月1日基準		
積算数量等情報	名称		採用数量	単位	備考	

(その他情報欄)

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
設計業務							
設計業務			1	式			
概略設計			1	式			
概略設計			1	式			第 1001 号 内訳書
直接経費			1	式			第 1002 号 内訳書
業務成果品費（率分）			1	式			製本部数：2部
直接原価計			1	式			
その他原価			1	式			
一般管理費等			1	式			
設計業務価格			1	式			
消費税及び地方消費税相当額			1	式			10.00%
業務委託料			1	式			

第1001号 内訳書
概略設計

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 計画準備	1	式			第1001号下内
(AMA0020) 利用・自然条件の設定	1	式			第1002号下内
(AMA0030) 課題抽出及び計画の再検討	1	式			第1003号下内
(AMA0090) 漂砂に対する対策工再検討	1	式			第1004号下内
(AMA0100) 全体施設配置の決定	1	式			第1005号下内
(AMA0110) パブリックコメント資料作成	1	式			第1006号下内
(AMA0140) 報告書作成	1	式			第1007号下内
(AMA0120) 協議・報告	1	式			第1008号下内
(AMA0160) 照査	1	式			第1009号下内
合 計					

第1002号 内訳書
直接経費

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) 旅費					
	1	式			
(TJ0020) 事務用品費					
	1	式			
合 計					

第1001号 下位内訳書
AMA0010 計画準備

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 計画準備	1	式			第1001号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1002号 下位内訳書
AMA0020 利用・自然条件の設定

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0020) 利用・自然条件の設定	1	式			第1002号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1003号 下位内訳書
AMA0030 課題抽出及び計画の再検討

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0030) 課題抽出及び計画の再検討	1	式			第1003号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1004号 下位内訳書
AMA0090 漂砂に対する対策工再検討

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0040) 汀線変化モデルの構築	1	式			第1004号単価表
(SJ0100) 再現計算	1	式			第1007号単価表
(SJ0110) 計算モデルの評価	1	式			第1010号単価表
(SJ0120) 将来の汀線変化予測	1	式			第1012号単価表
(SJ0130) 対策工の提案	1	式			第1015号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1005号 下位内訳書
AMA0100 全体施設配置の決定

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0050) 全体施設配置の決定	1	式			第1016号単価表
(SJ0150) 基礎断面算出	1	式			第1020号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1006号 下位内訳書
AMA0110 パブリックコメント資料作成

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0060) パブリックコメント資料作成	1	式			第1023号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1007号 下位内訳書
AMA0140 報告書作成

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0070) 報告書作成	1	式			第1024号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1008号 下位内訳書
AMA0120 協議・報告

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0080) 協議・報告	1	式			第1025号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1009号 下位内訳書
AMA0160 照査

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0090) 照査	1	式			第1026号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1001号 単価表
SJ0010 計画準備

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	0.68	人			
(R0403) 技師 (A)					
	0.68	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1002号 単価表
SJ0020 利用・自然条件の設定

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	0.5	人			
(R0403) 技師 (A)					
	1	人			
(R0405) 技師 (C)					
	1	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1003号 単価表
 SJ0030 課題抽出及び計画の再検討

1 式 当り
 適用年版 T0507
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1.5	人			
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0404) 技師 (B)	2	人			
(R0405) 技師 (C)	2	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1004号 単価表
 SJ0040 汀線変化モデルの構築

1 式 当り
 適用年版 T0507
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0160) 条件の設定	1	ケース			第1005号単価表
(SJ0170) データの作成	1	ケース			第1006号単価表
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1005号 単価表
SJ0160 条件の設定

1 ケース 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1	人			
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0405) 技師 (C)	1	人			
合 計					
	1	ケース			整数止め切捨て 円/ケース

第1006号 単価表
SJ0170 データの作成

1 ケース 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1	人			
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0404) 技師 (B)	1.5	人			
合 計					
	1	ケース			整数止め切捨て 円/ケース

第1007号 単価表
 SJ0100 再現計算

1 式 当り
 適用年版 T0507
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0180) 演算 (再現計算)	1	ケース			第1008号単価表
(SJ0190) 結果の整理 (再現計算)	1	式			第1009号単価表
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1008号 単価表
 SJ0180 演算 (再現計算)

1 ケース 当り
 適用年版 T0507
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0405) 技師 (C)	1	人			
合 計					
	1	ケース			整数止め切捨て 円/ケース

第1009号 単価表
 SJ0190 結果の整理（再現計算）

1 式 当り
 適用年版 T0507
 （上段：前回 下段：今回）

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1	人			
(R0403) 技師（A）	1.5	人			
(R0405) 技師（C）	1	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円／式

第1010号 単価表
 SJ0110 計算モデルの評価

1 式 当り
 適用年版 T0507
 （上段：前回 下段：今回）

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0200) 結果の検討	1	ケース			第1011号単価表
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円／式

第1011号 単価表
SJ0200 結果の検討

1 ケース 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1.5	人			
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0404) 技師 (B)	2	人			
(R0405) 技師 (C)	2	人			
合 計					
	1	ケース			整数止め切捨て 円/ケース

第1012号 単価表
SJ0120 将来の汀線変化予測

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0210) 演算 (汀線変化予測)	3	ケース			第1013号単価表
(SJ0220) 結果の整理 (汀線変化予測)	1	式			第1014号単価表
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1013号 単価表
 SJ0210 演算（汀線変化予測）

1 ケース 当り
 適用年版 T0507
 （上段：前回 下段：今回）

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師（A）		人			
	1.5				
(R0405) 技師（C）		人			
	1				
合 計					
		ケース			整数止め切捨て 円／ケース
	1				

第1014号 単価表
 SJ0220 結果の整理（汀線変化予測）

1 式 当り
 適用年版 T0507
 （上段：前回 下段：今回）

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師		人			
	1				
(R0403) 技師（A）		人			
	1.5				
(R0405) 技師（C）		人			
	1				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1015号 単価表
SJ0130 対策工の提案

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1.5	人			
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0404) 技師 (B)	2	人			
(R0405) 技師 (C)	2	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1016号 単価表
SJ0050 全体施設配置の決定

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0230) 設計波の算定 (浅水・砕波)	1	形状			第1017号単価表
(SJ0240) 設計波の算定 (エネルギー平衡方程式)	1	形状			第1018号単価表
(SJ0250) 設計計算 (離岸堤・養浜)	2	ケース			第1019号単価表
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1017号 単価表
 SJ0230 設計波の算定（浅水・碎波）

1 形状 当り
 適用年版 T0507
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0404) 技師 (B)	0.5	人			
(R0405) 技師 (C)	0.5	人			
(R0406) 技術員	0.5	人			
合 計					
	1	形状			整数止め切捨て 円/形状

第1018号 単価表
 SJ0240 設計波の算定（エネルギー平衡方程式）

1 形状 当り
 適用年版 T0507
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0403) 技師 (A)	1	人			
(R0404) 技師 (B)	1	人			
(R0405) 技師 (C)	1	人			
(R0406) 技術員	1.5	人			
合 計					
	1	形状			整数止め切捨て 円/形状

第1019号 単価表
 SJ0250 設計計算 (離岸堤・養浜)

1 ケース 当り
 適用年版 T0507
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	0.4	人			
(R0403) 技師 (A)	1.2	人			
(R0404) 技師 (B)	3	人			
(R0405) 技師 (C)	2.1	人			
(R0406) 技術員	0.1	人			
合 計					
	1	ケース			整数止め切捨て 円/ケース

第1020号 単価表
 SJ0150 基礎断面算出

1 式 当り
 適用年版 T0507
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0260) 図面作成	2	ケース			第1021号単価表
(SJ0270) 概算工事費算定	2	ケース			第1022号単価表
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1021号 単価表
SJ0260 図面作成

1 ケース 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0404) 技師 (B)	0.1	人			
(R0405) 技師 (C)	0.5	人			
(R0406) 技術員	0.6	人			
合 計					
	1	ケース			整数止め切捨て 円/ケース

第1022号 単価表
SJ0270 概算工事費算定

1 ケース 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0404) 技師 (B)	0.8	人			
(R0405) 技師 (C)	0.9	人			
(R0406) 技術員	1.2	人			
合 計					
	1	ケース			整数止め切捨て 円/ケース

第1023号 単価表
 SJ0060 パブリックコメント資料作成

1 式 当り
 適用年版 T0507
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師	1	人			
(R0403) 技師 (A)	1.5	人			
(R0404) 技師 (B)	1	人			
(R0405) 技師 (C)	1.5	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1024号 単価表
SJ0070 報告書作成

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	0.34	人			
(R0403) 技師 (A)					
	0.85	人			
(R0404) 技師 (B)					
	0.68	人			
(R0405) 技師 (C)					
	0.68	人			
(R0406) 技術員					
	0.85	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1025号 単価表
SJ0080 協議・報告

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	2	人			
(R0403) 技師 (A)					
	3	人			
(R0404) 技師 (B)					
	1	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1026号 単価表
SJ0090 照査

1 式 当り
適用年版 T0507
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師					
	0.34	人			
(R0403) 技師 (A)					
	0.68	人			
(R0404) 技師 (B)					
	0.68	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

